

# 中町中学校だより 丘山通信



令和6年度冬休み号  
多可町立中町中学校



令和6年12月25日（水）発行  
<https://www.town.taka.lg.jp/naka-jhs/>  
電話 32-0009 文責：校長 神崎

## 「 自分にベクトルを向ける・・・ 」

学校長 神崎進吾

今月、12月14日（土）、Uvance とどろきスタジアム（神奈川県川崎市）で、サッカー元日本代表の中村憲剛さんの引退試合が行われ、観客を沸かせました。中村さんは、川崎フロンターレで18年間プレーし、2016年には最優秀選手賞を受賞。日本代表としても2010年のワールドカップ南アフリカ大会に出場して活躍するなど68試合に出場し、2021年の元日に行われた天皇杯の決勝を最後に、現役を引退しました。

現在、彼は「育成年代から日本サッカーをより良くしたい」という想いから、育成年代の指導や情報発信を積極的に行っています。一流のアスリートとして成功した彼の言葉には一つ一つに重みがあり、私も学ぶことが多いです。彼は、サッカーだけでなく、社会を生き抜く上でも大切な「メンタル」について、次のように話をしています。

### ■コントロールできないことにベクトルを向けない

僕は引退セレモニーで、「全部自分にベクトルを向けてください」と言いました。周りのせいにするのではなく、「自分はどうかだったんだろう」「自分はどうかすればいいんだろう」と矢印（ベクトル）を自分に向けるのです。サッカーでうまくいかないことがあると、「監督が試合に出してくれない」「チームメイトがいいパスをくれない」など、周りのせいにしてしまうことがあります。人のせいにするのは簡単です。でも、こうした自分でコントロールできないことに対して、あれこれ文句を言ってもしょうがないと、僕は思っています。「監督が試合に出してくれない」と言う前に「どうすれば、自分が試合に出られるようになるか」を考えてみる。「監督が求めていることは何か？」「試合に出ている子はシュートが得意だから、自分はパスを意識してみよう」など、自分にベクトルを向けると、「いま、自分はなにをすべきか」を考えるようになります。この考えは、すごく前向きなことですね。周りを変えるのは難しいかもしれませんが、自分の考え方はすぐに変えることができます。これはサッカーに限らず、学校生活でも大人になって社会に出てからも、大事な考え方だと思います。

### ■自分にベクトルを向ければ、悩みもプラスに考えられる

とはいえ僕も、昔からそのような考え方ができていたわけではありません。学生時代に監督やチームメイトなど、周りのせいにしたこともありました。でも、そのときに「このまま周りのせいにしていても、成長しないぞ」と気がついたんです。自分にベクトルを向けると、悩みが発展的になって、プラスに考えられるように変わっていききました。うまくいかないことが起きたとき、自分が置かれている環境を変えたいと思ったときに、「じゃあどうすればいいんだろう」と、前向きに考えられるようになりました。誰かのせいになると、そこで終わってしまいます。自分がより良くなるために変わる可能性がなくなってしまうので、「自分は何をすればいいのか」と考えた方が、精神的にもいいと思います。



### ■自分を変えることが周りに与える影響

自分にベクトルを向け、志を持ってがんばっていると、周りの反応が変わっていきます。熱量がある

選手は、周りに良い影響を与えることができます。がんばっている人を笑う人はいません。もしいたとしても、共感してくれたり応援してくれる人はその何倍もいます。がんばっている選手には、周りの人も手を差し伸べたくなるんですね。フロンターレ時代もそうでした。試合に出られない若い選手ががんばっていると、アドバイスをしあげたくなりましたし、実際にいろんな話をしました。そのように情熱がある選手が増えてくると、チームはどんどん良くなります。意欲的な選手が周りに与える、ポジティブなパワーは計り知れません。そうしてチームに活気が出て、試合にも良い影響を与え始めます。

### ■大切なのは考えるだけではなく実行すること

「前向きにやろう」「ポジティブに考えよう」と言うのは簡単ですが、大切なのは実行すること。そのような考えのもとに体験に移すことで、前向きに考えて、自分にベクトルを向けることの大切さを感じられるようになると思います。皆さんもなにか嫌なことがあったら、自分にベクトルを向けて考えるくせをつけてみてください。サッカーでも、学校でも、職場でも、家庭でも、そうすることで前向きに考え、行動するための一歩を踏み出すことができると思います。僕も自分にベクトルを向けてがんばります。一緒にがんばりましょう！

勉強、部活（クラブチーム）、学校生活、友達関係など、自分の思うようにいかないことはたくさんあります。そんな時、周囲のせいにしても、自分の成長には繋がりません。「自分自身にベクトルを向ける」。それが成長へのスタートになるのではないのでしょうか。悩みや課題を自分の成長の糧とし、令和7年が飛躍の年となることを期待します。

## 12月の教育活動

### <生徒会役員選挙>

12月6日（金）、5校時に生徒会役員選挙を行いました。「この中町中学校をさらに魅力のある学校にしたい」「中町中のラスト1年を素晴らしい1年にしたい」という熱い想いと勇気を持って、4人が立候補してくれました。立ち会い演説会では、立候補者も応援演説者も、実に堂々とした演説ぶりでした。「中町中学校を暖色に染めて、一致団結を！」「生徒一人一人が楽しい毎日を送れるように！」「中町中のために、今できる最大限を！」「一期一笑～一つ一つの出会いに感謝や笑顔を～」等のスローガンを掲げ、自分が創りたい学校像を訴えました。そして、公約として「凡事徹底週間」や「あいさつ運動」「中町中のラスト1年を締めくくるイベント」「目安箱の設置」「掃除に楽しくしっかりと取り組む工夫」など具体的な施策を示しました。選挙で人を選ぶということは「選ばれた人をみんなで全力で支える」ということです。人を選ぶということはそれだけ重い責任があります。先輩の想いを受け継ぎ、みんなで更なる中町中学校のステップアップを図っていきましょう。選挙管理委員の皆さんもよく頑張りました。ありがとうございました。



**新生徒会役員決定！！ ～私たちがしっかりと伝統を受け継ぎ、発展させていきます～**

○会長

さん ○副会長（男子）

さん ○副会長（女子）

さん

### <校内マラソン大会>

12月20日（金）、午前中に校内マラソン大会を実施し、男子が6、8km、女子が4、8kmに挑戦しました。11月から体育の授



業でコツコツと練習を積んできた成果を発揮しようと、自分の力を出し切って走り抜きました。男女とも上位10名に表彰状を手渡しました。また、3位までに入賞した生徒には、西脇工業高等学校機械科の生徒作成のメダルを授与しました。マラソンはよく「自分自身との勝負」と言われます。自己新記録が出た人、昨年よりも順位が上がった人、うまく結果がでなかった人等様々ですが、それぞれ自分自身としっかりと勝負していたと思います。自分の得意なことを頑張ることは、とても大切なことです。それ以上に、自分の苦手なことでも手を抜かず、最後まで投げ出さず全力で頑張ることのできる人は、本物の強さを持った人だと思います。自分自身に打ち克ち最後まで頑張り抜いたことに、自信を持ってください。本当によく頑張りました。



#### 【男子】

#### ○令和6年度校内マラソン大会入賞者

#### 【女子】

順位	学年	氏 名	タイム	順位	学年	氏 名	タイム
1位	2年		27分03秒	1位	1年		21分48秒
2位	2年		27分10秒	2位	2年		22分13秒
3位	3年		27分13秒	3位	2年		23分22秒
4位	3年		27分22秒	4位	2年		23分46秒
5位	1年		27分39秒	5位	1年		24分03秒
6位	3年		27分47秒	6位	3年		24分09秒
7位	1年		28分04秒	7位	2年		24分10秒
8位	1年		28分20秒	8位	3年		24分12秒
9位	3年		29分20秒	9位	3年		25分21秒
10位	2年		29分27秒	10位	2年		25分34秒

## <生徒朝会・「ポッカぽこ」アート作品完成！>

12月9日（月）、1校時に生徒朝会を行いました。校長からは「いじめを生む教室・生まない教室」と題して講話がありました。次いで生活指導担当のH先生から、凡事徹底のうち「時間」について、自分自身を高めるため磨くために必要なことであり、今の生活を見直そうとの話がありました。その後、生徒会本部からこれまで取り組んできた「ポッカぽこ～伝えよう magic words!!～」のアート作品が完成したので、そのお披露目がありました。アート作品は本校舎1階の廊下に飾られています。生徒たちのあったかい心が伝わるととても素敵な取り組みです。学校にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



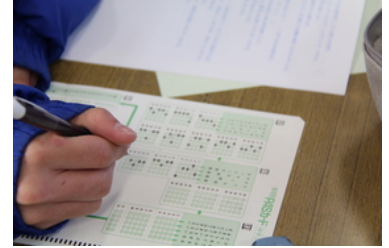
## <生徒会、第2回球技大会「本気の玉入れ!!」>

12月13日（金）、5・6校時に生徒会企画の第2回球技大会を実施しました。今回の種目は「本気の玉入れ!!」今回の球技大会のねらいは、2学期で培った学級の団結力をさらに高めること、そして、学年、男女関係なくスポーツを楽しむこと。通常の玉入れのルールに「追っかけ玉入れ」「色つきの手袋をいれたら高加点」「音楽が鳴ったら、競技を止めて体育祭で踊ったダンスをみんなで踊る」等、特別ルールや面白ルールを盛り込んだ今回の特別企画。全学年全学級が入り交じっての対戦となりましたが、みんなが参加しやすいユニバーサルデザイン型の競技だけに、学年男女関係なく、みんなで大いに盛り上がり楽しむことができました。優勝は2年2組、準優勝は3年2組でした。企画・運営にあたってくれた生徒会役員の皆さん、素敵な会をありがとう！



## <2年生、進路学習～PASカード～>

12月16日（月）、2年生が進路学習の一環としてPASカード（進路適性診断システム）の調査に取り組みました。これは進路・職業に対する生徒の興味、適正を調査する学年別の検査です。設問は全部で16問あり、生徒が自分自身を見つめながら、将来の生き方について考え、主体的に進路を選択できるように、自分について記入するものです。年明けには、この検査の分析結果が返ってきますので、それをもとに自己理解を深め、進路学習を進めていきます。2年生3学期は、3年生0学期とよく言われます。自分の進路を切り拓くため、着実に準備を進めていきましょう。



### 表彰の記録・部活動の記録

#### ○「宇宙の日」作文絵画コンテスト

最優秀賞

優秀賞

佳作

入選

#### ○第68回J A共済小・中学校書道コンクール

【努力賞】

#### ○中学生の「税についての作文」 兵庫県納税貯蓄組合総連合会長賞

多可町長賞

#### ○東播磨・北播磨地区中学校技術・家庭科研究大会

・家庭科 優良賞

#### ○兵庫県中学校技術・家庭科研究大会 家庭科 優良賞

#### ○第45回播但地区中学校総合体育大会

剣道 女子団体 優勝・・・中町中学校A、準優勝・・・中町中学校B

剣道 男子団体 第3位・・・中町中学校

#### ○多可郡ソフトボール協会旗争奪中学校女子ソフトボール大会

優勝 中町中学校・加美中学校 女子ソフトボール部

### お礼とお知らせ

## 【個別懇談（三者面談）ありがとうございました】

12月17日（火）～20日（金）にかけて、個別懇談（三者面談）を実施いたしました。保護者の皆様にはご多用の中ご協力いただき、誠にありがとうございました。今回は2学期を振り返って、学校でのお子様の学習や生活の様子をお伝えさせていただきました。3年生については、主に進路について確認する面談となりました。これから迎える冬休み、そして3学期をどう過ごすかも少し見えてきたのではないかと思います。限られた時間の中での懇談となりましたので、不明な点がございましたら、遠慮なく気軽にご連絡ください。

